

**日本一長い路線バス**

飯能市内は国際興業バス、西武バス、イーグルバスが運行しています。この3社の中で一番長い路線バスは飯能駅北口からさわらびの湯を經由して終点湯の沢まで運行している国際興業バスの「湯の沢線」です。運行距離は28.08km、運行時間は58分、そして運賃は790円（大人）となります。

では、日本で一番長い路線バスをご存知でしょうか？高速道路を使わない路線バスとして日本一長い距離を走る路線バスは、奈良交通の「八木新宮特急バス」です。奈良県の大和高田市、御所市などを得て村では面積日本一の十津川村を抜け、和歌山県田辺市を通過して新宮へ。運行距離166.9kmを約6時間半かけて走っています。運賃は、5,250円（大人）とのことです。

単純に、運賃を距離で割り湯の沢線の運行距離を掛けると運賃は約883円、運行時間を運行距離で割り、湯の沢線の運行距離を掛けると時間は約65分となります。

湯の沢線は時間がかかる、運賃が高いなどと言われますが、決してそうではなく、逆に信号が少ないことから長い距離を早く移動していると言えるかもしれません。名栗地区には河原やキャンプ場、温泉のほか鳥居観音や名栗川橋、尾須沢鍾乳洞など名所や観光場所がたくさんあります。この夏、路線バスで1時間の旅を楽しんでみませんか。

**新図書館がオープンしました**

飯能市立図書館の新館が、7月1日に山手町にオープンしました。この新図書館は地元産の西川材をたくさん利用しているので、木の薫りが漂います。また、平成25年度木材利用優良施設コンクールで林野庁長官賞を受賞しました。館内では、皆様の役に立つさまざまな機能や新しいサービスを行ってまいりますのでぜひご利用ください。

新図書館までの公共交通でのアクセスは、飯能駅北口（2番乗り場）からこまニュータウン循環または埼玉医大行の国際興業バスをご利用いただき、「天覧山入口」で下車してください。

**休暇村奥武蔵で再スタート**

旧埼玉県奥武蔵あじさい館が全国37番目、埼玉県内でははじめての「休暇村 奥武蔵」として7月1日に再スタートしました。ここ休暇村 奥武蔵では、この季節ならではの「ガーデンバーベキュー」が楽しめます。お肉や野菜はもちろん、バーベキューに必要なものはすべて準備し、片づけも不要です。電車で行けばビールなどのアルコール類も楽しめます。

公共交通でのアクセスは、西武鉄道をご利用し、吾野駅から送迎バスで5分です。

送迎バスも定時運行しています。電車も利用が少ないと廃止という話が再び出るかもしれません。電車もバスも守り育てるためには多くの方の利用が必要です。